

青果物



福島県 福島県、JA全農福島、JAふくしま未来 『美味しい福島のももを東南アジア諸国へ』

【主な品目】

もも

【主な輸出先国・地域】

タイ、マレーシア、シンガポール等

【輸出取組の概要】

- ◆ 安全性とおいしさを広くアピール。
- ◆ 農産物の鮮度を保つ空気調整(CA)コンテナを平成28年度からタイ向けに本格採用。
- ◆ タイ・バンコクの百貨店等数十店舗で販売、消費宣伝を実施。

【輸出実績】(平成24年度より輸出再開)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	1,702	28	7～9月
平成27年度	701	10	
平成26年度	358	5	

【効果があった取組】

- ・試食宣伝(日本産桃を知らない消費者が多い)。
- ・一般消費者まで購入出来る価格に設定。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 輸出に関する情報及び必要な検疫行程などの知識不足。
- ・ 新鮮さ・鮮度を確保しての運送方法。
- ・ 現地での正確な情勢把握及び販売先との商談の実施。



タイ・バンコクの百貨店での販売の様子(H28.8)

【生じた課題への対応】

- ・ 輸出に直接出向き、現地業者から情報収集。検疫などへの対応。
- ・ 青果市場を利用したことによる売買契約、代金決済、物流のスムーズな対応。
- ・ 空気調整(CA)コンテナの採用により鮮度を確保。
- ・ 現地法人など販売先との交渉による販路拡大。

【対応の結果】

- ・ 国内向け販売価格の下落を抑止し、販売の安定化に寄与。
- ・ 輸出品の知名度やブランドとしての価値向上や国内での評価向上。
- ・ 現地で価格を抑えた店頭販売が出来た事による取扱数量の拡大。

【今後の課題・展望】

- ・ 検疫への対応など国内出荷体制の確立。
- ・ 産地の旬に合わせた出荷計画の作成による輸出量の拡大(平成29年度の輸出量を約70トンに設定)。
- ・ 品質低下割合の更なる低減を目指し、平成29年度からマレーシア向けにも空気調整(CA)コンテナを本格採用。



タイへのもも輸出第一便の出発式の様子(H29.8)

【活用した支援・施策】 平成28年度福島県輸出回復緊急対策事業

【連絡先】 担当者名: JA全農福島 園芸部 園芸課 三浦恒、TEL: 024-554-3293